

岡本 知高

Concerto del
Sopranista
2010-2011

その声は、
聴くものすべてを美しく揺さぶる
ソプラニスタ、奇跡の歌声……。

2010年12月5日(日) 酒田市民会館「希望ホール」

open 13:15 / start 14:00 主催：希望ホール自主事業企画運営委員会、酒田市

入場料：S席¥4,000 / A席(一般)¥3,500 / A席(大学生以下)¥1,000 (全席指定・税込) ※未就学児のご入場はご遠慮願います。

発売日：2010年8月28日(土) 午前10時 (発売当日はお一人様4枚までとさせていただきます。翌日よりお電話でのご予約も承ります。)

チケット取り扱い ● 酒田市民会館「希望ホール」 ● 中合清水屋店 ● みずほ八文字屋 ● 八文字屋エビスヤ店(鶴岡市)

◆お問い合わせ：酒田市民会館「希望ホール」 ☎998-0043 山形県酒田市本町2-2-10

TEL：0234-26-5450 / FAX：0234-26-5452 <http://www.kibou-hall.sakata.yamagata.jp>

※当日は託児を行いますので、11月28日(日)まで希望ホールへお申し込みください。(子ども一人につき500円)

岡本知高

Concerto del Sopranista
2010-2011

「奇跡の歌声」——ソプラニスタ岡本知高
クラシックから日本の名曲までを披露!!

◇出演

ソプラニスタ 岡本知高 ◆ ピアノ 榎本潤 ◆ 音楽案内人

Program

- 誰も寝てはならぬ
(オペラ「トゥーランドット」より/ブッチェーニ)
- 神よ、平和を与えたまえ
(オペラ「運命の力」より/ヴェルディ)
- アヴェ・マリア (カッチーニ)
- 道標 (福山雅治)
- 日本の唱歌の数々 多数披露予定

※やむを得ず曲目が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

Sopranista Profile

1976年生まれ。高知県宿毛市出身。

男性でありながら女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手(ソプラニスタ)。

多くのソプラニスタやカウンターテノールがファルセット(男性裏声)を用いて技巧的に発声するのにに対し、岡本の場合は、男性としての強い筋力と豊かな肺活量を、生まれながらのソプラノヴォイスを通して発揮できるという、世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」である。テノールやバリトンといった一般男性の声は合わせ持っており、発声のメカニズムとしては完全に女性ソプラノと同様と考えて良いため、「コントラバスにヴァイオリンの弦が張られている」などと本人は愉快な表現で説明している。

そのレパートリーは、バロック時代のカストラート作品から宗教曲、オペラ、日本歌曲、クラシカル・クロスオーバー、ミュージカル、ポップスと多岐にわたり、国内主要オーケストラや様々なアーティストとの共演の他、モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、イギリス室内管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ブラ室内管弦楽団といった海外オーケストラからの呼び声も高く、国内各地でのピアノ伴奏によるソロコンサートとあわせて、唯一無二の奇跡の歌声を轟かせている。

またその一方で、ライブワークとして取り組んでいる学校訪問コンサートや、各地の学生らとのステージ共演に力を注ぐなど、音楽教師を目指していたという岡本らしい子供達とのふれあい活動も全国展開している。その背景にあるのは、「地元宿毛市の豊かな自然の中で天真爛漫に育った幼少時代と、6歳のときに足の病気を患い、親元を離れ養護施設で過ごした4年間の貴重な経験が、現在の岡本知高の礎である」と本人も語っている。

1998年ベートーヴェン作曲「第九」日本初演80周年記念再現リサイタルにソプラノリストとして抜擢を受けてデビューし、1999年国立音楽大学声楽科を卒業。この頃には既に独特のコスチューム(衣装デザイナー有松陽子氏による作品)をまとっていた。数々のコンクールで優勝・入賞を果たし、パリ・ブーランク音楽院に留学。審査員満場一致の一位を獲得、首席で修了。2002年帰国直後、NHK「スタジオパークからこんにちは」「ラジオ深夜便」、TX系「たけしの誰でもピカソ」などへの出演を機に、EX系「題名のない音楽会21」「徹子の部屋」、TBS系「うたばん」「学校へ行こう!MAX」、CX系「めざましテレビ」「新堂本兄弟」「MUSIC FAIR21」などに出演。その歌声はもちろん、独特のコスチュームと楽しいキャラクターで、一躍その名は全国的に知られることとなった。

2003年ユニバーサルミュージックより初アルバム「ソプラニスタ」でCDデビューを果たし、これまでにカネボウ、クリコ、東しなどのテレビコマーシャルでも印象的な歌声を聴かせている。2004年には人気を集めた昼ドラマ「牡丹と薔薇」(THK・CX系)で主題歌「涙のアリア」を担当。「第71回日本タバーニー」にて「君が代」独唱。2005年NHK「みんなのうた」でホッチカズヒロ氏のアニメーションと共に「空へ」が放送。「愛・地球博(愛知万博)」ではフレンドシップソング「この星の安らぎを」を担当。2006年よりCX系フィギュアスケート番組のオープニングソング「ボレロ」を担当。「メタリスト・オン・アイス」では生オーケストラの演奏と共に、荒川静香氏をはじめとするトップスケーター達と共演。「世界フィギュアスケート選手権大会2007東京」では開会式において「君が代」独唱も務めた。これまでに神崎克彦、瀬川武、宇田川貞夫、A.I.バジャクの各氏に師事。

◇岡本知高 オフィシャルサイト <http://www.sopranista-okamoto.com>

衣装：有松陽子 ◆ 写真：山本詢子 ◆ ヘア&メイク：Kinta



榎本潤 Jun ENOMOTO [ピアノ]

国立音楽大学ピアノ専攻科を経て、同大学院を修了。ダン・タイソン、柳川守、小林道夫の各氏に師事。1991年、第7回ピアノオーディション全国大会にて入賞。1996年、第34回北九州芸術祭にて最優秀伴奏賞及び全日空賞を受賞。これまでに、NHK交響楽団や東京フィルハーモニー交響楽団など都内主要オーケストラの各コンサートマスターと室内楽者として共演。また、古澤巖、大谷康子、川井郁子(以上ヴァイオリン)、浜中浩一、赤坂達三(以上クラリネット)、林康子(ソプラノ)、錦織健(テノール)、岡本知高(ソプラニスタ)、東儀秀樹(雅楽)の各氏ら著名アーティストと全国各地で共演を重ねている。海外からの来日アーティストとの共演も多く、世界的ヴァイオリニストのソネンバーク、ズカーマン、アナスタシアの各氏をはじめ、ウィーン・フィルの首席コンサートマスターであるキュヒル氏率いるアンサンブルとも共演している。2006年には「ザルツブルク室内管弦楽団」とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。チェンバロ奏者としては、ソロ・リサイタルのほか、東京ソリステンのヨーロッパ公演(フランス・ポーランド)やN響定期に出演。また「新イタリア合奏団」などの来日公演にチェンバロ協奏曲のソリストとして出演し、「音楽の友」誌にて「充実した気概と堅実な技術に裏付けられた快演」と絶賛を浴びている。その他、指揮、レコーディング、演奏会のプロデュース、後進の指導など、幅広い分野で活動を展開。CDは、岡本知高氏のアルバム制作に数多く参加。また、大谷康子氏との共演では「鳥のシシリアーノ」などがリリースされている。これまでに編曲・作曲作品も数多くあり、全音楽譜出版社からは、中高校生向きにオリジナル合唱曲「じぶんいろ」と合唱アレンジ作品「旅立ちの日に」が、カワイ出版からは合唱アレンジ作品「千の風になって」との楽譜がそれぞれ合唱ピースとして発売され、注目されている。現在、国立音楽大学講師。

榎本潤 オフィシャル・サイト <http://www.c-horizon.com>

Discography

発売・販売
ユニバーサル ミュージック合同会社



デビュー・アルバム
「ソプラニスタ」



ライブCD・映像
「ソプラニスタ・コンサート」



セカンド・アルバム
「ラ・ヴォーチェ」



サード・アルバム
「旅立ちの日に」



ベスト・アルバム
「ソプラニスタ・ザ・ベスト」



フォース・アルバム
「ジパンクー心に響く、日本のうた〜」

◇ユニバーサルミュージック 岡本知高サイト http://www.universal-music.co.jp/classics/j_classic/tomotoka_okamoto/index.html